地方創生加速化交付金事業　「島田市緑茶化計画」

資料１

【目的】

平成27年11月1日の島田市制施行10周年記念式典にて、市のブランドメッセージとして、国内向けとして「島田市緑茶化計画」、海外向けとして「SHIMADA GREEN Ci-TEA JAPAN」を発表した。「自信」と「誇り」を持ち、「稼ぐ仕組み」として、お茶をキーワードに様々な事業展開を官民協働で進めていく。

【緑茶化計画とは】

広義には、島田市民のアイデンティティとなるものを「お茶」にすること。狭義には、ロゴやメッセージを事業に溶け込ませながら、例えば、小学校に緑茶の出る蛇口を整備していったり、郵便ポストや店舗の外壁など、島田市の街並みを緑茶色に変えていったりすること、また、それにより「当市緑茶化計画」の機運を醸成すること。

【事業概要】

「緑茶のまち」島田市の強靭化のための仕掛けづくり。

＜市内戦略＞

新東名高速道路インターチェンジ近傍に、賑わい交流の場となる島田市緑茶化計画推進拠点を形成し、雇用の創出を図る。また、民間事業者による緑茶化商品の開発を促進するとともに、市民や民間事業者と連携し、今年度制定した市の色である「緑茶グリーン」や島田市緑茶化計画ロゴデザインを公共施設や民間企業などで活用するよう積極的な取組を進め、市内を「緑茶化」する。

＜海外・国内戦略＞

商品を売り出すためのプロモーションブランドとして島田市緑茶化計画「SHIMADA GREEN Ci-TEA JAPAN」をつくり、緑茶化商品（お茶、日用品、健康グッズ等）の開発及び販売促進を図る。また、同時に外国人や県外者向けに、島田市の人々や文化がいかに「緑茶化」されたまちであるかを面白いエピソードと共に紹介し、島田市を知ってもらい、訪れてもらうプロモーションを行い、外国人観光客の増加を図る。

平成28年度 地方創生加速化交付金事業「島田市緑茶化計画」 実施状況　一覧

（千円）

事業内容	担当課	予算額	費目	執行見込額 3月末まで	不用額
・島田市緑茶化計画「SHIMADA GREEN Ci-TEA JAPAN」 ブランド構築	広報課	2,160	委託料	2,160	0
・緑茶化計画ブランド商品テストマーケティング	広報課	8,100	委託料	8,100	0
		2,200	需用費	2,200	0
		500	役務費	500	0
・海外商標登録出願	広報課	800	役務費	289	511
・全国・世界に島田市緑茶化計画を売り込む動画制作	広報課	3,240	委託料	3,177	63
・コンセプトブック・ポスター制作	広報課	2,500	委託料	2,376	124
		500	需用費	500	0
・海外市場出展	農林課	2,400	補助金	2,400	0
・新東名島田金谷IC周辺賑わい・交流拠点形成	都市計画課	21,600	委託料	21,487	113
合計		44,000			811

地方創生加速化交付金「事業評価シート」（状況報告のため暫定版）

担当部・課	市長戦略部　広報課
シート作成担当者　係・氏名	シティプロモーション担当
連絡先電話番号	

事業名	島田市緑茶化計画推進事業	事業開始年度	事業終了予定年度
		平成28年度～	－

まち・ひと・しごと創生総合戦略		
	基本目標	2　島田市に住み、好きになる
	施策の柱	2－イ　シティプロモーションによるまちの魅力創造
	具体的な施策	シティプロモーションの推進

目的・背景等

対象（誰を、何を、どの地域を）、意図（どのような状態にしたいか）　など

①普段緑茶を飲まない県外の人に、販売するための、緑茶の開発
②ブランドメッセージ「島田市緑茶化計画」を活用しながら「お茶のまち」島田市を国内外にPR

実施内容

手段（目的を実現するために、市が具体的に行っていること）

（1）ワークショップの開催
　①市民や茶業青年団とワークショップを開催し、島田市緑茶化計画の活用検討やブランド茶の検討を実施した。
　②コンセプトブックを発行し市民に周知する。
（2）動画制作
　①市民200人に参加していただき、ブランドのイメージを構築するための動画を制作した。
　②テストマーケティングで使用できるような若者向けの牧之原開拓をモチーフとしたミュージックビデオを制作した。
（3）テストマーケティングの実施
　①ジャパンベトナムフェスティバルに出展し島田市のPRとアンケート調査を実施した。11/19-11/20
　②渋谷ロフトにて期間限定ショップを開催しブランド茶のマーケティングを実施した。3/9-3/15
（4）その他
　①茶と芸術のアートイベント「アレテー・パリ2016」にて島田市産緑茶のカクテルレシピを提案し採用された。

重要業績評価指標（KPI）実績・成果の指標			単位	目標値	H28（実績）		H29（目標）		H30（目標）		H31（目標）		H32（目標）	
					実績値	達成率等	目標値	達成率等	目標値	達成率等	目標値	達成率等	目標値	達成率等
成果 事業の	①	緑茶化商品	品	10	10	100%	15		20		25		30	
	②	協力企業数	社	10	65	650%	10		10		10		10	
	③													
実績 事業の	①	動画制作	本	5	7	140%								
	②													
	③													

今後の取組スケジュール	国内向け受入体制づくり期、商品開発、PR	海外向け基礎づくり期、商品開発、PR	国内外に向け発信期、商品開発、PR	国内外に向け発信期、商品開発、PR

成果・実績の説明	【成果】 （1）島田ブランドのファーストユーザー向け緑茶を開発し、流通に乗せた。生産者を含めた茶関係者が製品を利用できるようにした。 （2）動画を活用することで、島田市の緑茶のブランド化を促進させた。 （3）マーケティング活動により、若年層に訴求できるデータ収集を行うことができた。 【実績】 （1）動画制作　15秒　6本制作 （2）茶と芸術のアートイベント「アレテー・パリ2016」にて島田市のPRを実施 （3）街を緑茶化に（ポスト塗り替え、蓬莱橋ライトアップ） （4）テストマーケティング実施 ・ジャパンベトナムフェスティバル出展　ベトナム人の緑茶の嗜好について調査 ・渋谷ロフト間坂ステージ出展　ファーストユーザー向けに開発したブランド茶のテストマーケティングを実施 （5）コンセプトブック発行40,000部

単位：千円

				H28（決算見込）	H29（予算）	H29（）	H30（）	H31（）
事業費の推移	財源内訳	特定財源	国庫支出金	20,000				
			県支出金	0				
			地方債	0				
			その他	0				
		一般財源		0				
	当初（補正）予算額			20,000	0			
	流用額			0				
	執行額			18,802	0			
	不用額			1,198	0			

単位：千円

	内　　容	金　　額	積　　算　　等
H28事業費の内訳（詳細） 決算見込み	需用費	2,700	
	役務費	789	
	委託料	15,813	
合計		19,302	

事業評価	課題	ブランド茶の開発テストマーケティングを実施した。このマーケティング結果の分析を実施し若年層等に訴求するための商品のブラッシュアップと動画等を活用するなどして効果的プロモーション活動を展開
	課題に対する改善方法	商品のブラッシュアップを図るため、ターゲットを若年層に絞ってのワークショップの開催や継続したテストマーケティングの開催

翌年度の方針及び今後の方向性等	今後ブランド茶のラインナップを増加させていくほか、緑茶の景観や生産者などと連携した新しい観光商品の開発などを実施し複合的に展開していきたい。

地方創生加速化交付金「事業評価シート」（状況報告のため暫定版）

担当部・課	産業観光部　農林課
シート作成担当者　係・氏名	茶業振興係
連絡先電話番号	

事業名	島田市緑茶化計画事業（島田市茶業振興会）海外見本市等出展	事業開始年度	事業終了予定年度
		平成28年度～	－

まち・ひと・しごと創生総合戦略		
	基本目標	1　日本で、世界で、稼ぐ産業の創出
	施策の柱	1－ウ　新たな付加価値による農林業で稼ぐ
	具体的な施策	茶の生産基盤の強化と消費拡大

目的・背景等

対象（誰を、何を、どの地域を）、意図（どのような状態にしたいか）　など

島田市茶業振興協会では、島田市緑茶化計画に掲げる海外戦略の一環として、市内の茶業者を対象に、米国・台湾の海外見本市に共同出展し、島田市で生産された茶の海外での販路拡大を図る。

実施内容

手段（目的を実現するために、市が具体的に行っていること）

海外での事業展開、販路拡大を考える市内の茶業者を対象に、下記の見本市へ出展し、茶の展示や試飲、商談を行う。
出展の際には、海外向けブランドメッセージ「SHIMADA　GREEN　Ci－TEA　JAPAN」を活用し、海外において「GREEN　TEA（緑茶）＝SHIMADA（島田）」というプロモーション展開を図った。
〇台湾：2016 Asia-Pacific Tea Expo（APTE）　平成28年9月30日～10月2日　台北国際会議センター
・世界17カ国　1,500人以上の参加（主催者発表）
・出展者：カネイー言製茶㈱（島田市茶業振興協会会員）
・エスプレッソマシンで淹れたほうじ茶と牛乳を混ぜた「ほうじ茶ラテ」などの実演や、ティーバッグのほうじ茶ラテと煎茶ラテの紹介を行う。
APTE出展に関しては、市長が先方からの要請で、APTE組織委員に就任。茶業振興協会の会長である市長と、協会副会長の3人が、台湾茶協会（APTE主催者）や新北市などを訪問し、トップセールスとして、APTE及び茶輸出に係る情報交換や交流、茶関連施設の視察などを、APTE開会前の平成28年9月22日～9月26日に行った。
※実施前
〇米国：Natural Products Expo　West 2017（NPE）　平成29年3月10日～3月12日　アナハイム・コンベンションセンター
・出展者：㈱山関園製茶
・現地ディストリビューターと協力して、水出しした「有機栽培粉末茶」を試飲、紹介する予定。

重要業績評価指標（KPI）実績・成果の指標		単位	目標値	H28（実績）		H29（目標）		H30（目標）		H31（目標）		H32（目標）	
				実績値	達成率等	目標値	達成率等	目標値	達成率等	目標値	達成率等	目標値	達成率等
事業の成果 ①					#DIV/0!								
事業の成果 ②					#DIV/0!								
事業の成果 ③					#DIV/0!								
事業の実績 ①					#DIV/0!								
事業の実績 ②					#DIV/0!								
事業の実績 ③					#DIV/0!								
今後の取組スケジュール													

成果・実績の説明	・台湾茶協会との覚書の締結 台湾茶の生産指導や普及拡大に取組む台湾茶協会と島田市茶業振興協会が、相互協力や交流を進める覚書を結んだ。 島田市の茶の宣伝や見本市での出展協力、情報提供、茶のまつわる教育の連携などに取組む。

単位：千円

				H28（決算見込）	H29（予算）	H29（）	H30（）	H31（）
事業費の推移	財源内訳	特定財源	国庫支出金	2,400				
			県支出金					
			地方債					
			その他					
		一般財源			3,000			
	当初（補正）予算額			2,400	3,000			
	流用額							
	執行額			2,400	0			
	不用額			0	3,000			

単位：千円

	内　　容	金　　額	積　　算　　等
H28事業費の内訳（詳細） 決算見込み	補助金	2,400	
合計		2,400	

事業評価	課題	単発の出展では、なかなか成果が上がらない現状がある。
	課題に対する改善方法	マーケティング等により、ターゲットを絞るなどして、継続しての実施が必要である。

翌年度の方針及び今後の方向性等	海外での日本茶の需要が増えている中、マーケティング等を行うことにより、海外ニーズに合った茶の生産や、流通体制の強化などが必要と考える。

地方創生加速化交付金「事業評価シート」（状況報告のため暫定版）

担当部・課	都市計画課
シート作成担当者　係・氏名	計画係
連絡先電話番号	

事業名	新東名島田金谷IC周辺賑わい交流拠点整備事業	事業開始年度	事業終了予定年度
		平成27年度～	平成31年度
まち・ひと・しごと創生総合戦略	基本目標	1　日本で、世界で、稼ぐ産業の創出	
	施策の柱	1ーア　高速交通網の拠点で稼ぐ	
	具体的な施策	新東名高速道路島田金谷インターチェンジ周辺のまちづくり	

目的・背景等

対象（誰を、何を、どの地域を）、意図（どのような状態にしたいか）　など

新東名島田金谷IC周辺は、大井川鐵道と新東名高速道路が交差していることが特徴である。大井川鐵道は、全国でも珍しいSLの運行路線であり、近年は機関車トーマスを運行し脚光を浴びるなど、極めて大きなインパクトを持った観光資源である。新東名島田金谷IC周辺において、SLという観光資源と新東名高速道路ICとの連絡を強化することは、本地区のみならず、大井川流域における観光やお茶などの機関産業の振興・交流人口の増加に大変有効である。
　このため、市がシティプロモーションとして推進している島田市緑茶化計画を具現化する「稼ぐ拠点」を、大井川農業協同組合、大井川鐵道株式会社、中日本高速道路株式会社と連携して、新東名島田金谷IC周辺地区の玄関ゾーンに整備する。

実施内容

手段（目的を実現するために、市が具体的に行っていること）

平成27年度において、大井川農業協同組合、大井川鐵道株式会社、中日本高速道路株式会社及び島田市の4者で、「新東名島田金谷IC周辺賑わい・交流拠点整備構想」を策定した。これに基づき平成28年度では、具体的な施設計画を伴う「新東名島田金谷IC周辺賑わい・交流拠点整備基本計画」を4者連携により策定し、4者ともにこの基本計画を元に、具体的な取組を進めている。
島田市の役割は、新東名高架下に施設利用者のための駐車場の整備のための設計業務を平成28年度に実施している。今後は、基本計画の中で、必要とされている公共性のある施設（国道473号を跨ぐ歩道橋など）の設計や民間2社が実施する各施設について、全体のコンセプトやデザインの統一感を保つための監修業務などを実施していく予定である。

重要業績評価指標（KPI）実績・成果の指標		単位	目標値	H28（実績）		H29（目標）		H30（目標）		H31（目標）		H32（目標）	
				実績値	達成率等	目標値	達成率等	目標値	達成率等	目標値	達成率等	目標値	達成率等
事業の成果	① 大井川農業協同組合施設	棟	1	0	0%	0		0		1		1	
	② 高架下駐車場	台	800	0	0%	0		0		800		800	
	③ 大井川鐵道新駅	駅	1	0	0%	0		0		0		0	
事業の実績	① 年間集客数	万人	140	0	0%	0		0		70		140	
	②				#DIV/0!								
	③				#DIV/0!								

今後の取組スケジュール			賑わい交流拠点開業	

成果・実績の説明	事業において建設する具体的な施設整備を成果目標とした。事業実績は、建設した施設における年間集客数目標（基本計画試算による）とした。

単位：千円

				H28（決算見込）	H29（予算）	H29（）	H30（）	H31（）
事業費の推移	財源内訳	特定財源	国庫支出金	21,600				
			県支出金					
			地方債					
			その他					
		一般財源			23,641			
	当初（補正）予算額			21,600	23,641			
	流用額							
	執行額			21,487	0			
	不用額			113	23,641			

単位：千円

	内　　容	金　　額	積　　算　　等
H28事業費の内訳（詳細） 決算見込み	委託料	21,487	新東名島田金谷IC周辺賑わい交流拠点整備基本計画策定業務委託（交付金事業） 平成28年度島田金谷IC周辺賑わい交流拠点候補地測量設計業務委託等（市単独事業）
合計		21,487	

事業評価	課題	連携する4者それぞれに事業環境が異なるため、4者の足並みを揃えることが課題となる。
	課題に対する改善方法	市が主導的な役割を担う必要がある。

翌年度の方針及び今後の方向性等	本年度策定した「新東名島田金谷IC周辺賑わい交流拠点整備基本計画」に基づき、4者の連携を深め、具体的な施設の設計に入り、平成31年夏の開設に向けた準備を進める。

平成28年度地方創生加速化交付金事業「島田市緑茶化計画」実施状況

１．コンセプトブック製作

【内容】

島田市のブランドメッセージ「島田市緑茶化計画」について、市民の理解促進を目的として発行しました。

島田市緑茶化計画の概要や、イメージなど子どもから大人までわかりやすい内容としました。

□ ４色刷185㎜×185㎜　16ページ

□ 印刷部数：40,000部

２．動画製作

(1) 島田市緑茶化計画プロモーション動画製作

【内容】15秒動画６本

市内をロケ地として緑茶をテーマとした映像作品を製作。島田市ならではの日常風景をもとに、市民と緑茶にまつわる６つのエピソードを表現したものとなっています。

EP１：旅行先にマイ茶葉を持っていく編

EP２：小学校に緑茶の水道がある編

EP３：濃い緑茶を飲めたら一人前編

EP４：最後の一滴にこだわる編

EP５：水筒の中身はほぼ緑茶である編

EP６：まちが緑茶化している編

※動画の活用策として、映画館で本編上演前のＣＭで放映。

(2) 多言語ミュージックビデオ「SHIMADA GREENTEA SONG」製作

緑茶をテーマに幕末の武士と牧之原台地の開拓などを取り上げたミュージックビデオ

【内容】

ミュージックビデオは、日本語・英語・フランス語のラップ調の音楽で海外を意識した映像に仕上がっています。

市民がより「お茶のまち島田」の起源や歴史を知るきっかけとなるとともに、市外の人や、外国人が島田市に興味を持ち観光・インバウンドにつながるツールとしていします。

３．テストマーケティング

(1) コンセプトティーの開発

【内容】

シティプロモーションの一環として島田市茶業振興協会の３支部の青年部とＪＡと市とが協力してコンセプトティーを開発しました。

コンセプトティーは、製法（蒸し・火香）に特化した４つの味に区分し、それぞれ日常生活において嗜める場面を提案しました。

普段お茶を飲まない人に対し、わかりやすい緑茶となるよう整理しました。

(2) 期間限定ショップ「SHIMADA GREEN Ci-TEA JAPAN at 渋谷ロフト」

【内容】

市のシティプロモーションの一環として開発したコンセプトティーのテストマーケティングを目的として、都内の大型雑貨店渋谷ロフト１階に期間限定アンテナショップを出展しました。

リーフ茶離れが進む若年層に島田市の緑茶の魅力を提案するなどして訴求しました。

期間：３月９日（木）～15日（水）

場所：渋谷ロフト「間坂ステージ」

内容

・ブランド茶の販売
・島田の逸品の展示販売
・体験教室などのイベント開催
・渋谷ロフト「ロフトビジョン」の活用
・売場との連携

話題提供　　渋谷ロフトに本物の茶畑を再現、日本初お茶の入ったガチャガチャ（ガ茶々）を設置

試飲数　　２，２８４件（平成29年３月14日現在）

アンケート数　１，００２件（平成29年３月14日現在）

４．その他

⑴ ジャパンベトナムフェスティバルへの出展

【内容】

島田市におけるシティプロモーション「島田市緑茶化計画」の海外戦略を進めるため、ベトナムホーチミン市において、当市のＰＲと緑茶の嗜好性についてのマーケティング調査とブース運営を常葉大学生と協働で実施しました。

期間：11月19日、20日

場所：ベトナムホーチミン市

⑵ 茶とアートの芸術祭アレテー・パリ２０１６でオリジナル緑茶カクテル提供

～島田市発！カクテル「萌芽（ほうが）」とノンアルコールカクテル「葉桜」

【内容】

市のプロモーション（島田市緑茶化計画の一環）のためにつくられたオリジナルカクテルをお披露目しました！

市内の「BAR　misto」で島田市産緑茶を使用したカクテル「萌芽（ほうが）」とノンアルコールカクテル「葉桜（はざくら）」を開発しました。

９月１日、芸術祭のオープニングレセプションにおいてオリジナルカクテルがふるまわれ、ユネスコ大使やパリ市議にも好評をいただき、今後の展開が期待されます！

〇台湾茶協会等訪問（H28.9.22～9.26）

台湾茶協会との覚書締結

元培医事科技大学訪問

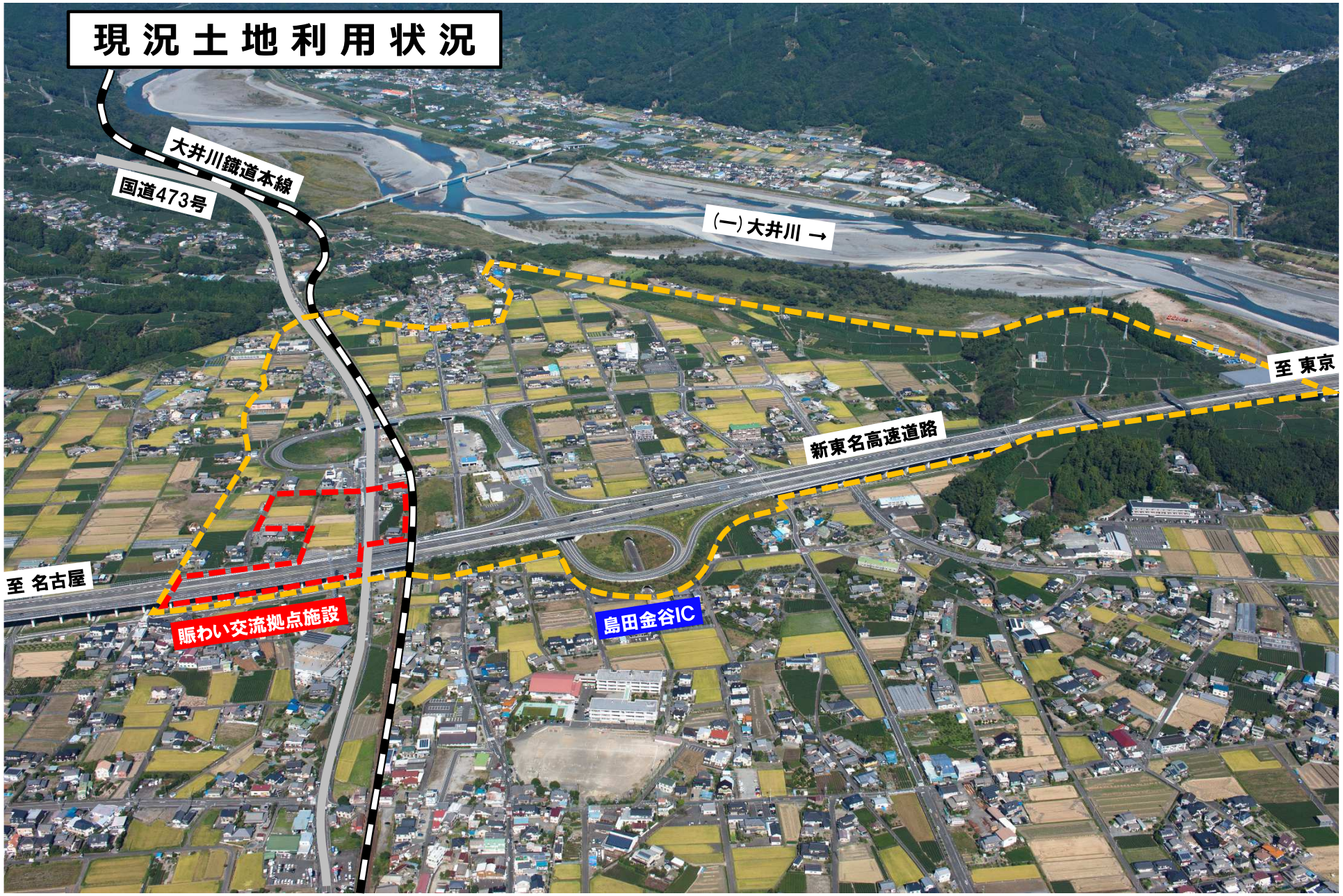
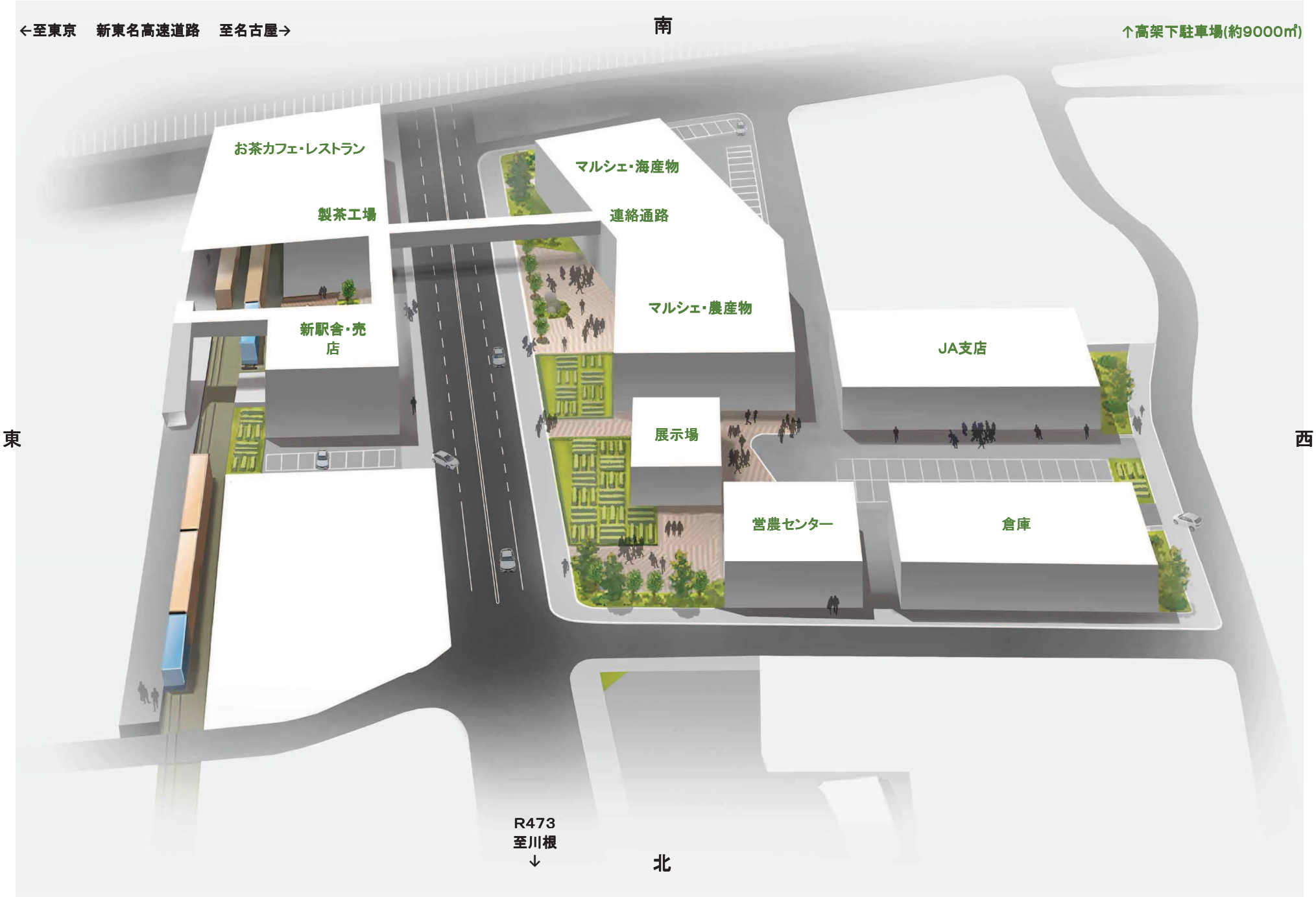
新北市訪問

行政院農業委員会訪問

〇2016 Asia-Pacific Tea Expo（H28.9.29～10.3）

〇Natural Products Expo West 2017（H29.3.10～3.12）

現況土地利用状況



新東名島田金谷IC周辺賑わい・交流拠点　イメージパース